

令和5年度 恵庭市自転車活用推進協議会 会議録概要

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和6年2月6日(火) 14:00~16:00 |
| 開催場所 | 恵庭市民会館 2階 視聴覚室 |
| 構成員 | <p>[委員]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部 都市圏道路計画課 課長補佐 前田 哲哉 国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部 千歳道路事務所 副所長 中山 光広 北海道空知総合振興局 札幌建設管理部 事業室 道路課 課長 野並 克弘 北海道空知総合振興局 札幌建設管理部 千歳出張所 所長 京野 英隆 恵庭市 建設部 管理課 課長 山下 主税 国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所 計画課 課長 林 典宏 北海道札幌方面千歳警察署 交通第一課 課長 若生 めぐみ サイクルフェスタ・恵庭運営協議会 会長 長崎 孝紀 一般社団法人 恵庭観光協会 事務局長 沼倉 健一 北海学園大学工学部 建築学科 教授 岡本 浩一 <p>[専門的知識を有するもののうちから市長が選任するもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> 恵庭市 保健福祉部 健康スポーツ課 課長 渡部 和也 恵庭市 経済部 商工労働課 課長 上山 謙太郎 恵庭市 経済部 花と緑・観光課 課長 廣瀬 新 恵庭市 生活環境部 生活環境課 課長 桑原 一徳 <p>[オブザーバー]</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道空知総合振興局 札幌建設管理部 事業室 事業課 課長 川端 茂敬 <p>[事務局]</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり拠点整備室 岡田(室長)、山口(次長) 伊藤(同主幹)、赤泊(同主査)、吉岡(同主事) 建設部 山下(部長)、長屋(次長) 萩原(土木課長)、林(同主査) |
| 欠席者 | 1名(若生 めぐみ委員) |
| 傍聴者 | 1名 |

| | |
|--|---|
| | <p>議事</p> <p>(1) 恵庭市自転車活用推進計画の進捗状況について</p> <p><主な意見></p> <p>会長 ・資料1の1ページの計画の施策一覧表の「完了」という表現について、整備については完了というのは理解できるが、ソフト面では適切ではないのではないか。</p> <p>事務局 ・ソフト面は、継続することとなるため完了ということにはならない。</p> <p>(2) 恵庭市自転車活用推進計画の見直し（札幌恵庭自転車道ルート）について</p> <p><主な意見></p> <p>委員 A ・資料2の14ページ下段の『スケジュール』の一部文言（2箇所）について訂正した方がよい。</p> <p>a) 「札幌恵庭自転車道は令和2年度より『道道島松千歳線・漁川築堤』から『道と川の駅花ロードえにわ』区間の工事に着手、順次、整備を進める。」となっているが、この区間は完成したため「～整備を進めてきたところ。」という表現が適切。</p> <p>b) 「～一部区間については、見直しを検討し現計画ルートを含めて今後具体的なルートを選定する。」については、皆さんの承認が得られれば、15ページ、図-3.1にあるとおりR5見直しルートで決定すると思慮される。この表現では、これからまたルートを選定するのではないかと誤解される可能性があるため「道道江別恵庭線から道の駅については、令和5年度にルートを決し、今後順次整備を進める」と記載し、図-3.1の凡例「見直しルート」を「決定ルート」とするのが適切。</p> <p>会長 ・事実確認的なところは、修正が必要。</p> <p>事務局 ・ルートの選定・決定について「選定」という表現で留めさせていただいたのは「最終的に整備実施していただくのは北海道さんであること」「JRをまたぐ必要があるが、JRとの協議が具体的に行われていないこと」「JRをまたぐ区間が都市計画道路になっているが、将来的に都市計画道路の見直しは高架化を行わない可能性もあること」などの理由により、事務局としては「決定」ではなく「選定」と表現させていただいた。</p> <p>・北海道さんよりお話のあったとおり、整備主体である北海道さんとして「決定」という記載で良いのであれば、市としても早急にルートを決し、整備を促進したいと考えているため、皆さんの了解が得られるのであれば、決定と記載する方向で考えたい。</p> <p>委員 B ・ルートの見直しについて「南18号」と「南19号」で検討した中で、道道との曲がりや交通量等を考慮し、南19号としたことは了解。札幌恵庭自転車道とは別に「石狩川流域圏ルート」というものが設定されており、南18線を通るルートになっている。</p> <p>・石狩川流域圏ルートは、当時の実態や自転車の実態が分からないまま検討していたという経緯があるため、石狩川流域圏ルートを南19号に今後変更していくのかどうか、意見を伺いたい。</p> <p>・石狩川流域圏ルートを南19号に変更しないのであれば、例えば資料1の22ページのように標識・シールを作成し、サイクリストが交差点等で迷わないようにする工夫を検討していただきたい。</p> |
|--|---|

| | |
|------|---|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・石狩川流域圏ルートは現道を利用したサイクリングルートであるが、今後札幌恵庭自転車道が整備された場合は石狩川流域圏ルートの見直しも必要だと思ふ。方向性が決まり次第、調整させていただきたい。 ・標識等については、事業の進捗にあわせて整備する必要があることから、事業主体である北海道と協議させていただきたい。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・流域圏ルートの方が、上位の計画か。 |
| 委員 B | <ul style="list-style-type: none"> ・上位の計画というわけではない。 |
| 副会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・札幌恵庭自転車道ルートが現在「南 19 号」で検討されているということで、個人的に良いルートだと思ふ。サイクリストからすると南 18 号よりも南 19 号の方が走りやすいし、安全で望ましい。 |
| 委員 B | <p>(3) その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 の 1 4 ページ「石狩川流域圏ルートサイクルマップを作成中である」という文言を「令和 4 年度作成済み」として修正させていただきたい。 |